

## 建設経済常任委員会

町一般会計補正予算（第九号）の關係分

防霜フアンの整備計画は

**問** 農業振興費のなかで、茶の防霜ファン設置補助事業があるが、今後における整備計画は。

**答** 現在、茶の植栽面積が約一四〇㊦で、約七四㊦が整備済みとなっている。価格も安定していることから、新・改植が進められ、防霜ファン設置要望も多い。今後も、有利な国・県の補助事業を導入するとともに、採択されない小規模地区は、町単独事業で対処しながら、優良茶の産地づくりに努めていきたい。

**問** 活力ある中山間地域基盤施設整備事業は、たばこの管理

用機械の導入事業補助だが、たばこ作の現状と将来性はどうか。

**答** 現在、耕作者二〇名、栽培面積約二〇㊦である。全量買い上げで、生産過剰の心配もなく、価格が安定している。甫立原地区や一ツ木地区で集団化も図られ、生産額等も横ばいの状況である。ただ、耕作者の高齢化が進んでおり、後継者の確保が急務である。



芝とクレ－（土）の2面が完成した「かくや姫グラウンド」

かくや姫グラウンドの

管理状況は

**問** 二面あるかくや姫グラウンドに今回、メジ用の砂の攪拌場所を整備し、芝グラウンドに春と秋の二回、砂をまくということだが、段差がついてくる心配はないのか。また、芝の中ほどに枯れているものが見受けられたが、カットが遅れているというようなことはないか。

**答** 芝の種類には、表面に根を張るものと、地中に伸びて根を張るタイプがある。かくや姫グラウンドの芝は、地中に伸びるタイプであることから、さほど心配はないと考える。芝のカットについては、植え付け段階で育成するために、伸ばしたことがあった。現在は、業者が手入れを行い、表面までグリーンが通っているようだ。今後も専門業者の指導を受け、適切な管理に努めたい。